

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

# 波佐ネット通信

No. 9 2015.4.11

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会  
波佐文化協会  
能海寛研究会  
ほたる湯館G・ゴルフ場

## 能海寛機関誌『石峰』第20号を発刊

【特別寄稿】『雲南のキリスト教』

中村 保

【会員研究】『能海寛と宗教的立場』一渡清日記に見る

飯塚 勝重

【会員研究】『中村元博士とチベット仏教求法僧・能海寛』

岡崎 秀紀

『能海寛を訪ねる旅 2014 フォト紀行（海外編・国内編）』

岡崎 秀紀

【会員研究】『西藏仏教求法僧 能海寛と仏跡復興運動のスリランカ人

岡崎 秀紀

A. ダルマパーラ』～インド仏跡復興運動、出会い、ダルマパーラの  
滞在日記、南方仏教とかかわった人たち～

【会員研究】「寺本婉雅新出資料から見た『能海学』

高本 康子

【会員研究】『山の谷間で生まれる論理』II

植田 義法

「能海寛の『新仏教徒』運動の軌跡」

隅田 正三

第20回年次大会／第2回チベットセミナー報告

定例学習会報告

能海寛将来の急須の生産地について

「県民いきいき活動奨励賞」受賞

会員寄稿／タシケント日本人墓地について

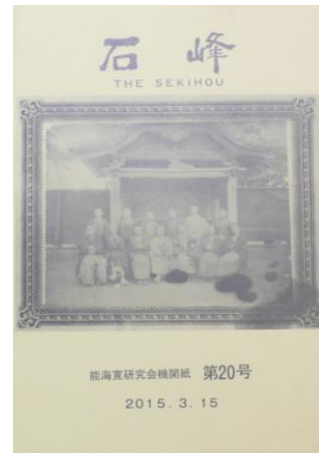
栗山 博子

能海寛歌碑めぐりウォーク2015

浜田市金城民俗資料館

浜田市金城歴史民俗資料館

【表紙】明治30年4月8日、降誕会で南條文雄、島地黙雷、大内青巒、村上専精、能海寛らが集会。



### 能海寛経歴

能海寛 法名法流。石峰と号す。明治元年5月18日島根県浜田市金城町長田（当時は那賀郡東谷村）浄蓮寺に生まれる。12歳で得度し、慶應義塾と哲学館（現在の東洋大学）に学ぶ。恩師南條文雄師の意志を引き継ぎチベット探検の論文『世界における仏教徒』を発表すると共に語学の研究と山岳登山による体力の錬磨をなす。郷里にあつては地方史を編纂して和歌を詠み、益田沖の高島にて寺子屋を開設する。哲学者、探検家、宗教家、新仏教徒運動の先駆者として、釈迦直伝のサンスクリット



能海 寛

ト経典を求め英訳経典を世に出す目的で、当時鎖国中であつたチベットへ求道のため身を挺し仏教巡礼探検を実践した功績は偉大で有言実行と用意周到さは後世に幾多の教訓を残す。

その苦難の34年の生涯に『西藏ボン教』、『般若心経』西藏文直訳（ボン・蔵・漢・英）、などが翻訳著書として永遠に伝う。最終音信日、明治34年4月18日をもって命日とする。